

とらじんまのり SSKA 冬

No.240・2023 1.15

おもな記事

- 年頭にあたって 戸倉振一会長あいさつ 1
- 特集** 腎臓再生医療の現状と展望/横尾隆先生 … 2



大会実行委員



東腎協 結成50周年記念大会

 **特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

東腎協 結成50周年

記念祝賀会を開催しました

記念講演
講師 横尾 隆 先生



来賓のみなさま



会場のようす



目次

50周年記念大会写真／目次……………	表2
年頭にあって	
NPO 東腎協会長 戸倉振一 ……………	1
特集 腎臓再生医療の現状と展望	
(50周年記念大会講演録)	
東京慈恵医科大学腎臓高血圧内科	
主任教授 横尾隆先生……………	2
50周年記念大会(祝辞、長期透析者表彰)…	8

活動のまど……………	12
東京歩こう会（昭和記念公園）……………	14
年賀広告……………	16
2023年度長期透析者（30年）……………	20
糸賀久夫さんを偲んで……………	21
事務局から……………	23
第34回腎臓病を考える都民の集い……………	表3

年頭に
あたつて

10年20年先の活動を見据えて



NPO法人東京腎臓病協議会会長 戸倉 振一

あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年、当会が1972年11月19日に結成してから、50周年の節目を迎えることができました。これまで当会の活動を支えていただきました会員、賛助会員の皆様、この間の透析医療の向上にご尽力されました医療関係者の皆様、透析医療や福祉に対してご理解とご支援をいただいた議会、行政、国民の皆様に深く感謝いたします。

現在、50周年記念事業として、記念大会、記念誌の編集、会員実態調査報告書の作成を進めているところです。記念大会につきましては昨年10月に、運良く新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せている状況でしたので、約70名の参加で対面で開催すること

ができました。

記念講演では東京慈恵会医科大学副学長で、腎臓・高血圧内科主任教授の横尾隆先生をお招きし、先生が長年取り組んでこられた、腎臓再生の現状と展望についてご講演をしていただきました。iPS細胞を用いた「胎生臓器ニッチ法」という腎臓再生医療の2020年代での実現を目標として、製薬会社等との共同研究・開発などの取り組みを開始しているのとこのことでした。腎臓の構造は複雑なので再生は困難と言われていましたが、異種移植と再生腎臓の良いところをとったハイブリッド腎臓による、異種腎臓再生医療は夢物語ではなく、近い将来に実現の可能性のある医療であるという希望溢れるお話でした。(特集参照)

このような現状を踏まえると、次の10年、20年の活動を見据えた

時、現在私たちが安心して透析が受けられるような社会を先人が目指し実現させたように、今度は我々が、将来の世代のためにこのような異種再生医療ですが、希望すれば誰でも受けられる社会を目指して活動いく必要があるのではないかと考えます。

一方で現在、透析医療取り巻く課題についてもしっかり取り組んでいかなければなりません。皆様にご協力いただきました、会員実態調査につきましては約千名の方にご回答をいただきました。ご協力に感謝しております。現在、会員実態調査報告書の取りまとめの最終段階に入っております。本調査により会員のニーズを明らかにし、課題解決に向けた活動を進めていきたいと考えています。

全ての透析患者に共通する課題は、いつ起きてもおかしくない首

都直下型地震や激甚化する水害時等に透析医療を確保するための災害対策の充実です。東京都や東京都透析医会災害対策委員会等の透析医療ネットワークと東腎協の連携はしっかりとできていますが、区市町村レベルの連携、患者への啓発が課題となっています。また、近年は人生の最終段階にどのような医療受けたのか、ACP「人生会議」が重要といわれています。このような課題解決や啓発を進めていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症については、ウィズコロナを進めるため、今年の春に、「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行する方向で検討が進めています。透析医療における課題についてしっかりと検討し、問題が起きないように対応していきたいと思えます。

引き続き皆様のご支援ならびにご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年、会員の皆様にとって良い年となりますよう、ご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

腎臓再生医療の現状と展望

東腎協創立50周年記念大会において東京慈恵会医科大学副学長

で、腎臓・高血圧内科主任教授の横尾隆先生をお招きし、異種移植や再生医療の現状と、臨床応用に向けて最終段階に入った再生腎臓の取り組みについて、今日に至るまでの足跡と、今後の展望についてご講演いただきました。その概要を取りまとめましたので是非御覧ください。

異種移植（注1）の現状

海外では日本と比べて臓器移植が進んでいますが、それでもドナー不足となっています。そこで、ドナー不足を解消する手段として、アメリカを中心として異種移植の試みが進められています。

アメリカでは昨年、1～2週間で亡くなることが明らかだった患者さんに対して、ブタの心臓の移植が行われ、2ヶ月間生存させることができました。脳死の患者さんに対して、3日間だけブタの腎臓を移植したというニュースもありました。

日本では、ブタの臓器や細胞を人に移植することに関しては、1型の糖尿病の方には認められるよ

うになります（注2）。一方で「異種移植の実施に伴う公衆衛生上の感染症問題に関する指針」で定められている安全性確認の対象となるウイルス等の数が多いため、日本で行うのは難しく、移植を受ける側の人の気持ちの問題も含めて異種移植というのは、もう少し時間がかかりそうだというような現状があります。

再生医療の現状

日本で認められている再生医療は、パーキンソン病や脊髄損傷でiPS細胞から作った神経前駆細胞（注3）を用いた細胞移植が進められています（注4）。心臓の動きが悪い人にはiPS細胞から作った細胞シート（注5）を貼り

付けて心臓の収縮を助ける治療もあります。

腎臓については、前駆細胞を入れたり、細胞シートを貼り付けても機能回復は難しく、複雑な構造を持った臓器の再生が必要になります。腎臓の再生医療が一番進んでいるのは日本です。昨年の1月にニュースになりましたが、熊本大学の西中村教授がマウスの幹細胞から複雑な構造を持った腎臓の再生に成功しました。これが2mmぐらいの大きさで、それでも、すごいことなのですが、血管が入っておらず現時点で尿を作ることも証明できていないので、これも実用にはまだまだ時間がかかりそうです。

このように、再生医療純粋なものでもまだ時間かかりそうですし、ましては異種移植に関しては、特に日本ではそれ以上に時間がかかりそうです。

ハイブリッド再生腎臓

私たちのチームは、再生医療と異種移植の両方の良いところを利用して、とにかく早く患者さんに届けようということを進めています。

用語解説

注1）動物の生きた細胞や組織、臓器を人に移植すること。

注2）ブタの膵臓から細胞を取り出して特殊な膜で包み1型糖尿病患者への移植する治療法。

注3）前駆細胞とは最終分化細胞へと分化することのできる細胞で、幹細胞と最終分化細胞の中間に位置する細胞のことで、神経前駆細胞は神経に分化する細胞のこと。

注4）iPS細胞から誘導した神経前駆細胞を直接脳内や損傷脊椎に移植する治療法。

注5）ヒトの細胞を採取し、シート状に培養して作製した薄い膜で、これを患部に貼ることで細胞や臓器の再生を図るもの。

す。異種移植は、ブタなどから腎臓をもらうわけで、完全な臓器になっているわけですが、拒絶反応の管理が難しく一方で再生医療は、自分の細胞もしくは人のiPS細胞から作れば、人の腎臓移植と同じぐらいの免疫抑制で済みます。ただ大きな腎臓まで作ることができていません。そこで、この二つの良さだけを取り、ヒトサイズの免疫抑制が可能なハイブリッド腎臓を作ることによって、患者さんに透析に変わる治療法として確立させ、その後進化させるといって、異種再生医療を以前から目指しています。

再生腎臓は必ずできる

人は一個の受精卵から10ヶ月たつて生まれてきた時には腎臓を持っています。それは胎児の体の中で腎臓に分化させるプログラムが働いているからです。そして、生まれると、そのプログラムを使えなくしているのです、腎臓は再生しなくなります。

今日、我々は、受精卵とほぼ同じ性格のiPS細胞を手にすることが出来ましたので、受精卵から

腎臓ができるのであればiPS細胞から間違いなく腎臓ができます。

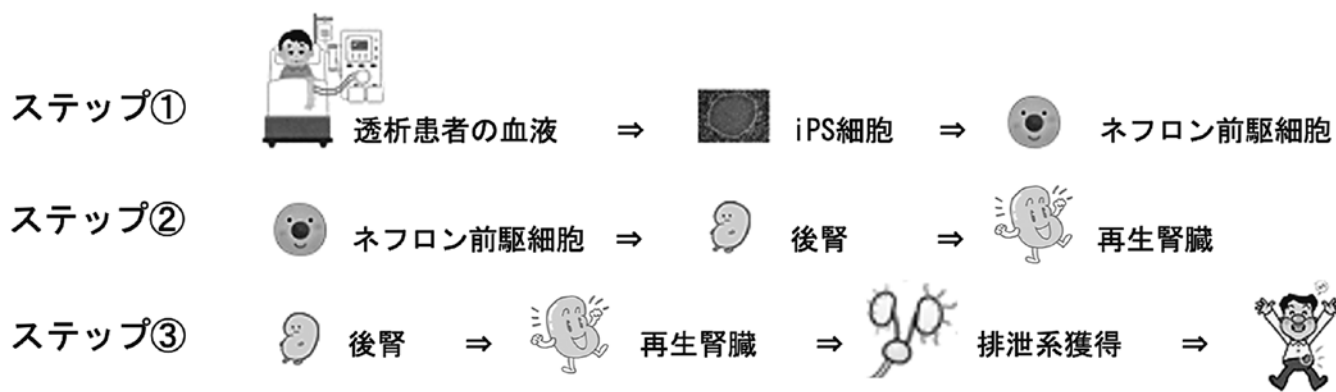
再生腎臓の3つのステップ

腎臓再生には、①患者由来のiPS細胞からネフロン前駆細胞（腎臓の芽）を作る ②ネフロン前駆細胞から尿を作る臓器を体内に作る ③尿を体外に排泄させる経路を作る この3つのステップが考えられています（図1）。実は動物の実験ではもう全てできるようになっていますが、現状では、患者さんになぜ届けられないかをお話します。

再生腎臓の原理

受精卵はネフロン前駆細胞という腎臓にしかない細胞に分化することが出来ます。また、胎児の体の中にはニッチという腎臓を作る環境も作ります。そういうことなので、ステップ①の透析患者さんの血液から作ったiPS細胞からネフロン前駆細胞ができることは分かっていますので、これをほかの動物の胎仔の中のニッチに入れます。そうすると腎臓にする

図1 腎臓再生の3ステップ



ネフロン前駆細胞

腎臓の構成部位である糸球体から近位尿細管、遠位尿細管という部位まで分化する能力を持った腎臓前駆細胞の一種存在である。

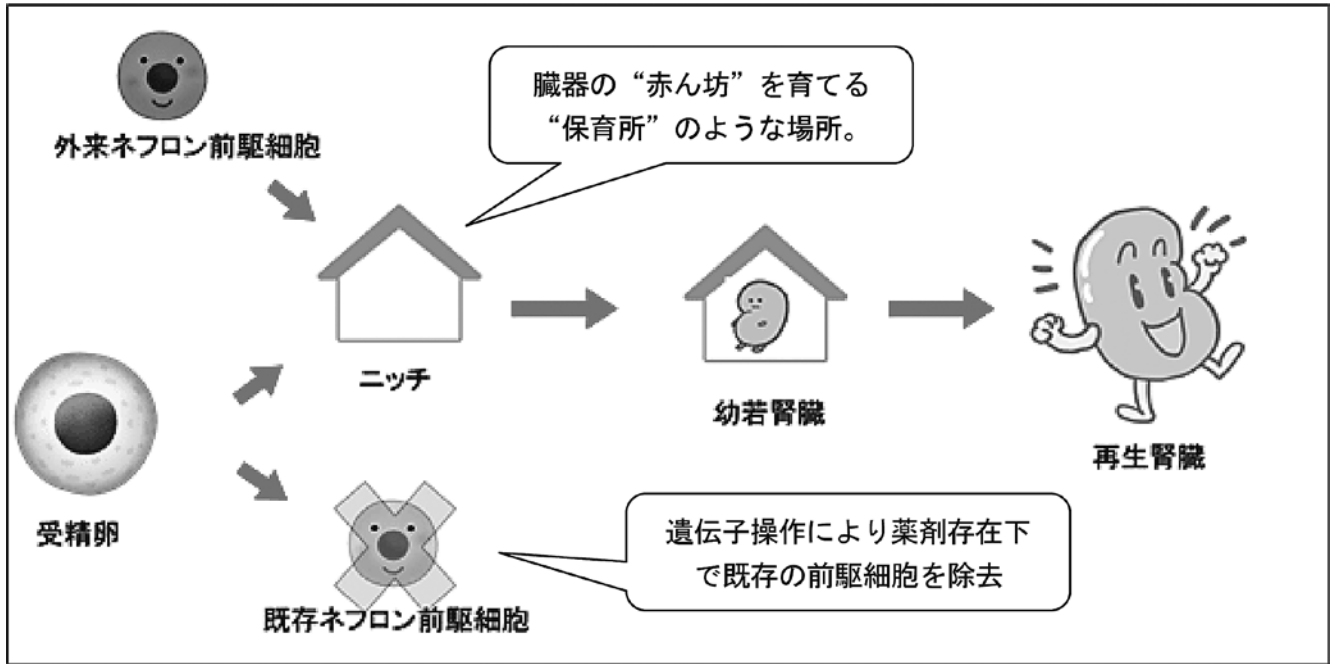
後腎

ヒト胎児は発生中に前腎、中腎、後腎を持つが、生まれるときにもつ腎臓(永久腎)は後腎から分化している。つまり腎臓の“子供”のような未熟腎臓のこと。後腎まで分化するとニッチの外に出ても自ら成長して成熟腎臓まで成長(分化)できるようになる。

ニッチ

前駆細胞が存在する“場”のこと。母体内で発生中では、受精卵から分化した各臓器の幹細胞はニッチ内でさらに分化(成長)し各臓器の系譜に成長していく。つまり発生中のニッチは臓器の“赤ん坊”を育てる“保育所”のような場所。

図2 再生腎臓の作成(ステップ②)のイメージ



出典：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 プレリリース 掲載日 平成29年11月23日
 ネフロン前駆細胞から腎臓再生成功 ― 臨床応用に向けた最終段階へ ―
 (https://www.amed.go.jp/news/release_20171123.html) にコメント追記

プログラムが働きますのでネフロン前駆細胞は腎臓になってくれます。

ただし、人と他の動物との「キメラ(双方の細胞からなる)腎臓」ができてしまうという問題が生じます。我々が欲しいのは純粋な人の腎臓ですので、遺伝子操作と薬剤で既存の前駆細胞を除去して、外来性のヒト前駆細胞だけをニッチ(腎臓を作る環境)内で成熟させるシステムを開発しました(図2)。

この原理を使って腎臓を作ることができました。ただしこの段階ではまだ尿は出来ません。尿を出すためには、腎臓の芽を生体内に戻します。そうすると血管が入ってきて尿が始めます。

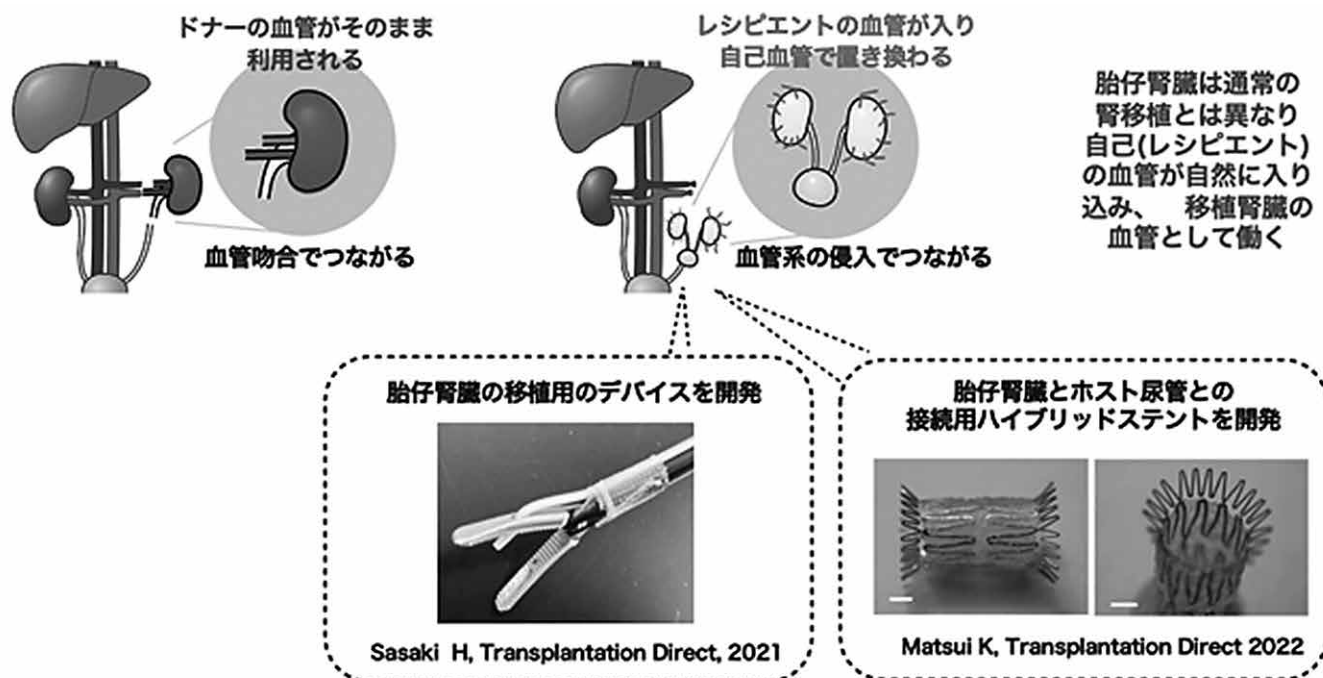
マウスの実験では、マウスのiPS細胞から作った再生腎臓で、尿を作るところまでうまくいきました。また、ヒト用のシステムにも変えることも成功しています。ただ、尿の量は非常に少ないです。なので、大きな動物を使う実験に進みました。

ブタでの実験

どういうことかというラットとかマウスでは、この動物の元々の腎臓の大きさ以上に大きくできません。ラットなどの腎臓は1cmぐらいですからそれ以上育ったらそこで止まります。大きく成長しないようにプログラムが入るからです。ですから、人と同じサイズにするためには、それ以上の腎臓をもつ動物のプログラムを借りないといけません。そういうことでブタに移りました。

ブタは人よりちょっと大きめの腎臓持っていて、この遺伝子操作も可能です。当初使ったブタは家畜豚で、半年も経つと200kgぐらいになり、免疫抑制剤をたくさん使うことになり、お金がいくらあっても足りないと言うことで、クローンブタを作って実験することになりました。クローンブタは10年以上前にドリーという羊のクローンが話題になりましたが、それのブタバージョンです。ブタの腎臓を使えば人の腎臓の1/5ぐらいの大きさになり、マウスに比べ尿をたくさん作ることができるこ

図3 尿排泄機構の作成(ステップ③)



出典：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 成果情報 掲載日 令和4年3月23日
 ブタ腎臓移植は、胎仔腎臓の方が拒絶反応が弱い ―サルを用いた世界初の証明―
 (<https://www.amed.go.jp/news/seika/kenkyu/20220323.html>)

とが証明できました。

尿排泄機構の作成

あとは尿を外に出すだけです。

最初は膀胱と再生した腎臓を人工のチューブで繋いだのですが、これはうまくいきませんでした。尿管も臓器なので動いていて、尿を掻き出そうとしています。これを蠕動運動と言います。これを胎児の頃からやっているの、うまくいきませんでした。

そこで、もともと持っている膀胱の元、総排泄腔(そうはいせつくう)と言いますが、それごと移植すると、そこまで尿がたまりません。そこに元々の尿管を繋ぎ、とにかく段階的な尿排泄機構をつくることによって、尿をうまく掻き出すことが可能であるということが分かりました。実験では8週経っても十分に尿は出て、かつ人の普通に出る尿の量に近い1/3から半分の濃度のクレアチニンにすることができました。ついにここまで来たかという感じでステップ3も証明できています。既存のデバイスだと上手くいかないの、小さな腹腔鏡で簡単な操作で

きるような腎臓再生用デバイスや尿管接続用のデバイスも開発しています(図3)。

維持再生医療のイメージ

将来的なイメージとしては、透析患者さんが、希望した場合、患者さんの血液からiPS細胞を作らせてもらって、それからネフロン前駆細胞まで作ります。そして、遺伝子改変していらなくなったら細胞が全部消えてくれるようなブタの腎臓の芽を取り出します。これは凍結・融解することができ、そこに患者さん由来の前駆細胞を打ち、それを患者さんに移植します。このあと麻酔が覚めたら患者さんにはブタの組織が消えてくれる薬を飲んでもらいます。

そうするとブタの前駆細胞が全部消えてくれるので、ブタの腎臓を作る環境がある場所に、人のiPS細胞由来の前駆細胞しか残らなくなります。前駆細胞は5週間で30gのスピードで大きくなっていきます。そして、尿ができ始めたら、総排泄腔と使っていない膀胱と尿管を繋げると、再生腎臓から作られた尿が総排泄腔を中継地点

にして膀胱までたどりつきます。再生された腎臓は人と同じ場所にあるわけではないですが、作られた尿は膀胱まで行きますので普通に尿道から尿が出るようになります。

実用化の壁

ついにここまで来たので人への臨床応用の治験を国にお願いしましたが、ネズミやブタでの成功と人との間がありすぎるということとで認められませんでした。つまり、腎臓の場合は、尿がしっかりと出て、クレアチニンがきちんと下がって、尿が尿道からきちんと出るというようなことがもっと証明できなければだめで、霊長類で証明しないとダメ、ここで壁にぶち当たっているわけです。今までは国からの補助金で研究していましたが、霊長類では桁違いにお金がかかります。

死の谷

アカデミアである我々大学側の研究でいいとこまでいっても、患者さんに届けられないことを、死の谷とよく言います。実用化のた

めには、この死の谷を超えなくてはいけない状況になります。

企業の協力が必要

構造としては、アカデミアである我々大学側がAMED（国立研究開発法人 日本医療研究開発機構）とかJST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）といった、国の公的資金で今までのラットとかマウス、なんとかブタも含めてやって来ましたが、霊長類となると、ベンチャー企業を立ち上げてそこに個人投資家からお金を集めたり、あとは有名な製薬企業が協力してくれるかどうか、これが大きな問題になります。

我々は幸運にも我々の研究の意気を感じてくれた方々にお声がけいただき、BIOSというバイオベンチャーの立ち上げと、住友ファーマの協力を得る事に成功し、産官学連携の腎臓再生コンソーシアムを形成する事ができました（注6、注7）。

国の機関のPMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）というところが、承認審査をするのですが、大きな製薬会社は、そ

こに交渉する担当チームがいるわけです。そのチームが我々に力を貸してくれるようになりました。また、患者さんに対して、最初の安全性と有効性を示すときには、腎臓学会が承認するプロトコル（治験実施計画）が必要となります。私は当学会の理事をしており、この承認を得るためのアドバイスを教示いただくことができるため、この形がついにできて、一気に進めることができる環境になりました。

一方で、一時期マスコミに多く露出していたのですが、ここ3年くらい出ていません。それは、コンソーシアムを形成する事によって情報の守秘義務が生じるので一切マスコミでこの話をしてはいけないというものがあります。ですから、最近再生医療が続いているのかとよく言われますが、すぐ進んでいるのだけとお話ができないだけで、本当にいいとこまできていますので是非期待してもらっていただきたいと思います。

安全性について

最初は安全性の確保のため、透

注6）大日本住友製薬株式会社（現 住友ファーマ株式会社）IR ニュース 2019年4月5日

東京慈恵会医科大学、明治大学、バイオス株式会社、株式会社ポル・メド・テックおよび大日本住友製薬株式会社の5者は、iPS細胞を用いた「胎生臓器ニッチ法」による腎臓再生医療の2020年代での実現を目標として、共同研究・開発などの取り組みを開始しました。

(<https://www.sumitomo-pharma.co.jp/ir/news/pdf/ne20190405.pdf>)

注7）東京慈恵会医科大学報道発表資料 2022年3月1日

東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 横尾隆教授らによる研究グループは、大日本住友製薬株式会社との共同研究で、ブタ腎臓の移植手術は胎仔の腎臓を用いることにより拒絶反応が弱くなることを世界で初めてサルを用いた実験により証明しました。

(http://www.jikei.ac.jp/news/pdf/press_release_20220301.pdf)

析患者さんに特殊な薬を使う訳にはいかないので、例えば移植をするときにABO不適合型の移植をするときには血漿交換とか色々な薬を使うわけですけども、それと同じことをして生着することを示しました。まず、最初の安全性検証にはその患者さんがOKを下さればの話ですが、ABO不適合の治療移植をする際に、腎臓の芽を同時に移植させてもらって正常に育つこと、しかも悪さもしないことを証明したいというようなことを考えています。

一日も早く皆様に届けたい

我々が、まだ超えなくてはいけないことは、国を説得しなくてはいけないことです。一時的にそのブタの組織が体に入るので、厳しいレギュレーション（医薬品や医療機器に対する厳格な規則のこと）も通さなくてはなりません。国も前向きになってくださって、ここは厳しすぎるから少し落としどころ決めようと言うことで今PMDAとも話し合いを始めたところですよ。

iPS細胞はがんのリスクとか

もないわけではないので、こういうものを、どれくらいクリアできるのかというようなことです。この辺りが問題点として起こるのですが、今後腎不全患者が増えていく、また、今まで透析や移植があるからと目をつぶっていた腎不全医療、透析患者のQOLが上がっているとしても、どうしても透析に時間を取られたりなど辛い思いをされている人たちの声を国にわかってもらって、腎臓再生にサポートライトを当てて、我々のドライビングフォースとして、前に進めていき、何とか一日も早く皆様に届けたいと思っています。

その時のために

そのためには、水分制限、リン制限、カリウム制限など、非常に辛いと思いますが、絶対に良い状態でその日を迎えてもらいたいので、血管も若々しく、いろんな体の部分のバランスが取れた状態のほうがかうまくいきますから、いつか必ず受けられますその日まで、いい状態をキープしていただきたいのです。そのように思っています。

質問と回答

これは、私だけの仕事ではなくて慈恵医大と、あとブタはブタ、サルはサル、いろんなところ専門家の手伝いをいただいて、このチームは大学院生を加えるとだいたい50人以上です。全員が皆さんともに頑張っていて、この異種再生医療を皆さんに届けたいということで頑張っています。

Q..患者会で再生腎臓実現の後押しをしていることのアピールをしたいが、説明用資料はありますか。

A..我々の治療法はまだ完成されたものではありません。始めは、透析をしながら、カリウムやリンだけは制限を緩めて良いよとか、水分だけは取っていいよ、もしくは4時間を3時間に、あるいは3回を2回にしていくなどを一つのステップとして進めていきたいので、一気にこの治療法にお力を貸してくださいっていうことを患者さん達にお願いすることは出来ません。現在行われている透析治療とうまいことバランスをとりながら

に進めていくことが大事だと思っています。

もう少し人に近づいたところでオピニオンリーダーの先生方とお話をしながら、こういった形でマスコミの方に対応するのか等、そういうことを考えていく必要があります。今まだ患者さんと一緒に声を上げていく段階になってないというのを理解いただいた方が良いでしょう。腎臓再生医療の早期の実現についての患者さんの思いを、患者会から国に届けていくことが大切ではないかと思っています。

Q..今後の研究資金の目処はたっているのでしょうか。

A..寄付というお話もありますが、私たちは一貫して患者さんや患者会からの寄付はいただいております。今年、大型の研究助成金（段階的胎生臓器補完による網羅的慢性腎不全の抜本的治療法の開発）を5年間いただくことが決定し、一気に実験の頻度を上げることができるようになりましたのでご安心ください。

2022年10月30日

東腎協結成50周年記念大会

10月30日（日）13時より主婦会館プラザエフ7階力トレアにて対面で行なわれました。コロナ禍で対面式での開催は3年ぶりとなりました。



開会挨拶する戸倉会長

会場には、患者会・個人会員・一般参加者48名、東京都・来賓・関係者8名、講師・司会2名、理事・関係者15名の総勢73名の参加となりました。

大会は13時に鈴木吏良さん（元NHKキャスター）の司会で始まりました。

戸倉振一東腎協会長の開会挨拶に続き

来賓挨拶

東京都透析医会会長

安藤亮一様（代読 司会）

東京都区部災害時透析医遼

ネットワーク代表世話人

菊地勘様（代読 司会）

東京都区部災害時透析医遼

ネットワーク代表世話人

酒井謙様

東京都議会自由民主党

政務調査会長 菅野弘一様

都議会公明党

議員団副団長 高倉良生様

日本共産党東京都議会議員団

都議会議員 斉藤まりこ様
東京都議会立憲民主党

幹事長 西沢けいた様
都民ファーストの会 東京都
議団 幹事長 たきぐち学様
（当日、急用により欠席）

東京都福祉保健局
保健政策部部長 遠藤善也様



菅野弘一様（自民）



酒井謙様



遠藤善也様
(東京都福祉保健局)



西沢けいた様 (立憲)



斉藤まりこ様 (共産)



高倉良生様 (公明)

祝賀メッセージ紹介(司会)

(全腎協のみ全文、他は県腎協名前のみ紹介) 全腎協、北海道、秋田県、岩手県、福島県、宮城県、栃木県、茨城県、山梨県、埼玉県、長野県、静岡県、大阪府、和歌山県、岐阜県、愛知県、滋賀県、徳島県、高知県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、エールピス株式会社様。

結成50周年おめでとうございます

一般社団法人全国腎臓病協議会 会長 池田 充

NPO法人東京腎臓病協議会様におかれては、平素より会の活動につきましても、多大なご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

このたび貴会が結成50周年

を迎えられたとのお知らせに接し、永きにわたり東京都の腎疾患対策に取り組み、腎臓病患者の福祉と療養環境の整備にご尽力されてこられた役員・職員の方々及びそれを支えた会員の皆様方に深く敬意を表する次第です。

現在、私達を取り巻く環境は2025年問題と言われるように、すべての団塊世代の人間達が75歳を迎え、入院病床や介護施設の不足など大きな課題となっています。これらの課題は高齢者、要介護者だけの問題ではなく、現在元気に自立している透析患者にも共通するものです。誰もが自分らしく生き、自分らしい最期を迎えられる社会となるよう気概を持って患者会活動に取り組んでいかなければなりません。

さらに、新型コロナウイルスの感染蔓延により、今まで私達が経験したことのない対応が必要となっています。感

染症対策はもとより、患者会活動、組織運営にも大きな影響が出ています。私達患者会も会員に向けた感染症予防のための万全な取り組みを示すことが重要です。感染予防の徹底に努め、自身の身の安全をしっかりと守っていきましょう。

この状況下での大会開催はご苦労があったことと存じます。戸倉会長をはじめ関係者の皆様のご協力に改めて敬意を表するとともに、貴会のますますのご発展と「東腎協結成50周年記念大会」の盛会を祈念いたし、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2022年10月

東腎協活動報告

板橋俊司事務局長が過去10年の活動報告を行いました。(詳細は記念誌「あゆみ」参照)

休憩の後、長期透析者表彰
(30年・40年・50年)を行いました。(敬称略)

全腎協長期透析表彰者(50年)

- 高藤アツ子(腎内科クリニック 世田谷患者友の会)
- 代行として同患者会会長古暮宏理事が表彰を受ける。
- 糸賀久夫(個人会員)
- 篠原栄一(新中野フェニックス会)
- 堀口誠(個人会員)
- 以上4名(ただし全員欠席)

全腎協長期透析表彰者(40年)

- 宜野座安堅(昭島腎クリニック ひまわり会)
- 小林ひさ子(昭島腎クリニック ひまわり会)
- 篠崎久子(清湘会東砂病院 腎友会)
- 佐藤行成(新中野フェニックス会)
- 以上4名(ただし全員欠席)

結成50周年記念大会 長期透析表彰者(30年)

- 岩崎伸一(清湘会記念病院 腎友会)
- 小川典之(昭島腎クリニック ひまわり会)
- 長谷川充(中野共立病院 腎友会 絆の会)
- 榎永照也(個人会員)
- 松本茂利(個人会員)
- 宗像聡之(森山友の会)
- 渡辺美和子(清湘会記念病院 腎友会)
- 以上7名(全員出席者)

- 浅倉良子(新小岩クリニック 友の会 船堀)
- 太田裕章(西クリニック ひまわりの会)
- 佐藤由起江(聖橋クリニック 腎友会)
- 鈴木和子(森山友の会)
- 野寺和枝(森山友の会)
- 原田マサエ(個人会員)
- 平山陽子(阿佐谷すずき腎友会)

友会)
以上7名(ただし欠席)

以下20年21年度表彰出席者

- 荒井豊(虎の門・高津会(本院))
- 安齋和栄(聖橋クリニック 腎友会)
- 長田友紀子(日野クリニック 腎友会)
- 齊藤友美(松和患者会)
- 高橋雍子(個人会員)
- 林勝則(聖橋クリニック 腎友会)
- 以上6名(全員出席者)



感謝の言葉

透析30年 松本茂利

本日このように透析30年の表彰をしていただきありがとうございます。ありがとうございます。

私は、平成2年12月28日に透析導入をして、今年12月で満32年になります。透析導入から3年くらいまでは、体重管理、塩分管理が上手いはずよく主治医やスタッフに怒られていました。（昔の話ですが、私が透析をはじめたのが30年以上も昔だったので、今とは違って主治医やスタッフは、相当厳しかったです。今では、考えられないくらい



にキツイ口調で脅されました。今は、そういうことは無いと思います。）

今ではどちらも上手く行っていて何も問題なく透析をおこなえています。合併症も副甲状腺の病気ぐらいで、他に大きな合併症も無かったのがこのように30年も無事でいられたのだと思います。主治医、スタッフの皆さんそして私に関わってくださった全ての皆さんには、本当に感謝しかありません。本当にありがとうございます。ありがとうございます。

私は、透析導入直後から会活動に関わってきました。今、会員の高齢化に伴い会員数もかなり減ってきて会自体の存続が、困難になって解散する所も出てきました。私は、このような状態に凄い危機感を感じています。だからこれからも腎臓病で苦しんでいる方のため、一会員一理事として一層の努力をしていきたいと思っています。今後とも変り

ないご指導を賜りますようお願いいたします。

透析30年表彰者一同を代表致しまして心からのお礼を申し上げます。ありがとうございました。

抽選会

景品ご提供者

○エルピス株式会社様より
（エルピスドリンク10本入り
3箱、温湿度計2台、電子体温計3台、エルピス水溶性マルチビタミン30粒入り5袋）



○酒井豊副会長より（皮長財布5個）のご提供

記念講演（14時20分）

「腎臓再生医療の現状と展望」東京慈恵会医科大学副学長 腎臓・高血圧内科主任教授 横尾隆先生

閉会挨拶

副会長 古暮宏



祝花

酒井謙様、菊地勘様

活動の まど

東京都より要望項目に対する回答がオンライン会議で行われた。

12月13日（水）

小池都知事とのヒアリングが都庁大会議室で都知事出席のもと対面で行われた。

主要要望

東難連活動報告
令和5年度東京都予算
に対する要望

1. 東京都の総合難病対策の相談窓口を東難連に一本化して下さい。

8月
小池都知事あてに全体要望
15項目、疾病別要望10項目を
提出

2. 指定難病と類縁の疾病の治療に必要な、極めて薬価の高い治療薬に対する助成を行って下さい。

9月7日（水）

自由民主党、立憲民主党ヒア
リング

3. 難病対策地域協議会の未設置の区に設置を働きかけて下さい。
4. 難病疾病児童等地域支援協議会を設置して下さい。

9月8日（木）

都民ファースト、公明党、共
産党ヒアリング
10月24日（月）



創立50周年記念講演会

12月11日（日）

広尾事務所で創立周年記念講演会が開催されました。

講演内容

「難病の遺伝子治療について」

講師

自治医科大学特命教授 村松

慎一先生

現在、遺伝子治療の治療で「パーキンソン病」治療の研究が進んでおり、患者の症状が劇的に改善されたとの注目すべき内容が報告されました。

全腎協

拡大事務局長会議

11月5～6日（日）

2022年度全腎協拡大事務局長会議が11月5～6日（日）アワーズイン阪急（大井町）で開催された。

全国都道府県加盟組織事務

局長等25名、全腎協理事15名計50名が参加した。

開催趣旨は、事務局長に求められるコンプライアンスを正しく理解し、組織活動とコンプライアンスの関係性を整理し、共通認識を持つ、また、組織運営上の課題を共有し課題解決に向けて意見交換を場とする。さらに、高齢化する透析患者の通院介護の問題について、事務局長としての必要な知識、情報を学ぶとともに意見交換する。

11月5日（土）

第1部 「コンプライアンス

に関する講義及び質疑」講師…鈴木勝治先生（公益財団法人公益法人協会副理事長）

第2部 「組織運営上の課題

に関するグループワーク及び発表」

11月6日（日）

第3部 「通院介護の実態―

講義及びディスカッ

ション」講師…庄子忠雄先生（独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土ヶ谷中央病院ソーシャルワーカー）

第96回

関東ブロック会議

10月9日（日）

10月9日（日）第96回関東ブロック会議が開催されました。コロナ禍でリモート会議も10回となりました。

茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、長野、東京の9都県から20名と、全腎協理事3名の計23名が出席しました。

東腎協からは、古暮宏、酒井豊副会長、横溝理事と、全腎協理事として戸倉、板橋理事が出席しました。

開催前に、参加者の出欠とリモート環境を確認し、森理

事が司会を担当し、戸倉理事より開会の挨拶が行われ議事に入った。議事進行は板橋理事が担当しました。

議事

1. 全腎協第34回通常理事会
議事次第
2. 各県の活動報告

板橋理事より全腎協理事会討議次第を基に、この間の全腎協の活動報告が行われた。その後質疑が行われ、全腎協の組織問題について活発な意見が出された。関東ブロックの体制については、馬上担当理事が病気療養中のため、担当理事代行に板橋理事が全会一致で承認された。

次に各県の活動報告がされ、15時に会議は終了しました。次回は宇都宮で一泊対面式会議を予定していましたが、コロナ第8波のため2月にリモートで開催することになりました。

全腎協第24回 臨時理事会

12月10日（日）

12月10日（土）全腎協第24回臨時理事会が開催され、戸倉理事と板橋理事が出席した。主な協議事項は①事務局員冬季賞与②SNS導入について③ブロック担当理事の役割と権限について、報告事項は①2022年度上半期会計報告②ブロック活動報告③委員会、関係団体活動報告など。ブロック割では、来年度から北海道と東北が合併し、北海道・東北ブロックとなったことが報告された。

報告の中で、全腎協瀬口事務局長が12月15日で辞任することが報告され、来年度は役員改選期でもあり、早急に全腎協事務局体制の強化、対策が必要になりました。

東京歩こう会
11月13日(日)
昭和記念公園(立川市)

新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大の影響を受け休止していました「東京歩こう会」を第7波も漸く収束に向かい始めましたので再開することになりました。

この間私達透析患者は感染予防のため巣籠もり状態が続き運動不足のため筋力が低下している会員さんが多いことと思います。そこで第9回「東京歩こう会」は立川の昭和記念公園を訪ね、見頃を迎えた紅葉やイチョウ等を眺めながら晩秋の一日をお仲間と語りながら日頃の運動不足を補っていただくべく開催しました。



11月13日(日)、幸い晴天の暖かい陽気に恵まれ午前10時にJR青梅線西立川駅に集合参加者は17名、ウォーキングコースの案内図と名札を配布、世話役の理事を先頭にスタートしました。身体者障害者手帳を提示し、入園料は無料となり得をした気分でした。

日曜日で紅葉の見頃と重なり大勢の入場者で賑わっていました。水鳥の池を過ぎテレビで良く放映されて有名なイチョウ並木に向かいここで記念写真を撮りました。噂にたがわず、数100mにわたり黄金色のイチョウ並木の美しさは言葉に表せないほどで一同大感激でした。

その後池泉回遊式日本庭園を見頃の紅葉を見ながら一周、その途中に国営盆栽苑で見事な盆栽を鑑賞しました。引き続き花木園、みんなの原っぱを経由し昼食場所のふれあい広場へ。レストランで食事をする会員さんと、芝生の上に

シートを敷き持参したお弁当を談笑しながら食べる会員さん、一時間あまり楽しく過ごしました。

午後は昭和天皇記念館を訪ね(こちらにも身体障害者手帳を提示し無料)昭和天皇、香淳皇后のご遺品、写真などゆかりの資料と展示品を鑑賞し解散場所の立川駅へほぼ予定どおり2時に到着し無事解散となりました。参加された会

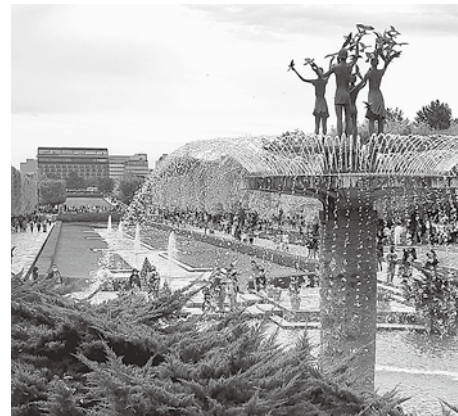


員さん大変お疲れ様でした。
 次回は来春桜の季節に開催
 する予定ですので、是非多数
 の会員さんのご参加をお待ち
 しています。



紅葉を楽しんだ
 東腎協ハイキング
 腎内科クリニック世田谷
 森 洋子

11月13日（日）快晴の中、
 3年ぶりの東腎協の「東京歩
 こう会」が行われました。コ
 ロナでしばらくお休みだった
 ので、久しぶりにお会いし、
 こうして集まることができ
 本当によかったなあと思いま
 した。17名の参加でした。



昭和記念公園は、紅葉の真
 つ盛りで、黄金色に輝くイチ
 ヨウの葉は、それは見事でし
 た。イチヨウの葉がはらはら
 と風に舞う中で、記念撮影し
 たり、葉を拾い上げたりして
 楽しみました。

ここから「こどもの森」や
 「こもれびの家」を通り、日
 本庭園に。日本庭園は池泉回
 遊式庭園で、池に映るもみじ
 の紅はそれは素敵でしたし、
 緑の木々とのコントラストも
 見事でした。ここからまた、



ひたすら歩くのですが、途中
 アート作品があったり、大ケ
 ヤギがあったりで、目の楽し
 みもありました。

ふれあい広場で昼食。お弁
 当持参組は芝生で、レストラ
 ン組はレストランで食べまし
 たが、おしゃべりしながらの
 お昼も格別でした。

このあと、皆さんは昭和記
 念館に足を延ばしましたが、
 私はここで退却。紅葉の美し
 さを味わい、たくさん歩き、
 東腎協の皆様と交流でき、本
 当に楽しい1日でした。





明けましておめでとうございいます

二〇二三年一月

社会福祉法人 樹会「透析者人居できます」 特別養護老人ホーム 大井苑 理事長 富家 隆樹 〒356-0054 埼玉県ふじみ野市大井武蔵野1277-1 ☎049(262)8686 FAX049(256)5300	医療法人財団 きよせ旭が丘記念病院 理事長 高木 由利 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-619-15 ☎042(491)2121 FAX042(491)6653	社会福祉法人 樹会「透析者人居できます」 特別養護老人ホーム 四街道苑 理事長 富家 隆樹 〒284-0008 千葉県四街道市鹿放ヶ丘593-3 ☎043(304)8161 FAX043(304)8163	社会医療法人社団 健生会 羽村相互診療所 所長 小林 重雄 〒205-0023 東京都羽村市神明台1-30-5 ☎042-554-5420 FAX042-555-3151
社会医療法人社団 健生会 すながわ相互診療所 所長 小泉 博史 〒190-0002 東京都立川市幸町5丁目9番2号 ☎042(538)1502 FAX042(538)1502	医療法人社団 菊川橋クリニック 院長 古川 猛 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 ☎03(5600)2222 FAX03(5600)0805	医療法人社団 君真光 寺田病院 理事長 寺田 光男 〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目18番16号 ☎03(333)1166 FAX03(333)6765	医療法人社団 健康文化会 小豆沢病院 院長 一瀬 隆広 〒174-8502 東京都板橋区小豆沢一丁目六番八号 ☎03-3396-8411 FAX03-3396-0151
医療法人社団 光靖会 井口腎泌尿器科・内科 新小岩 理事長 井口 靖浩 院長 安東 克之 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-49-10 第5デリカビル5・6・7階 ☎03(623)5931 FAX03(623)5932	医療法人社団 三友会 あけぼの病院 理事長 南郷 俊明 〒194-0021 東京都町田市市中町1丁目23番3号 ☎042(728)1111 FAX042(728)8469	医療法人社団 松和会 大泉学園クリニック 院長 草場 岳 〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-40-24 サンダリオンビル3F ☎03(594)5681 FAX03(594)5681	医療法人社団 大坪会 三軒茶屋病院 院長 大坪 由里子 〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-21-5 ☎03(341)7321 FAX03(341)7321
社会医療法人社団 順江会 東京綾瀬腎クリニック 院長 長田 しをり 〒124-0001 東京都葛飾区小菅4-8-2 ハynesアヤセII2F ☎03(568)6888(代) FAX03(568)6898	医療法人社団 時正会 エバラクリニック 理事長 横川 秀男 院長 道端 哲郎 〒142-0062 東京都品川区小山5-9-1 ☎03(378)2101 FAX03(378)1001	旗の台小池クリニック 院長 古田 英美子 〒142-0064 東京都品川区旗の台5丁目8番23号 ファイブコート旗の台101号室 ☎03(549)1681 FAX03(549)1682	自由が丘いずみクリニック 院長 新藤 優紀 〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2丁目10番20号 ☎03(573)5771 FAX03(573)5773



明けましておめでとぅございます

二〇二三年一月

医療法人社団 秀佑会	東海病院	院長 江本 秀斗	〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 FAX 03 (3999) 1131 03 (3999) 7027
医療法人社団 松和会	望星赤羽クリニック	院長 川守田 洋介	〒115-0045 東京都北区赤羽 2丁目11番3号 FAX 03 3902-0255 03 3902-0255
医療法人社団 心施会	新小岩クリニック船堀	院長 武田 之彦	〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 FAX 03 (3688) 9901 03 (3688) 9973
医療法人社団 心施会	府中腎クリニック	院長 篠村 裕之	〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F・7F FAX 042 (366) 8909 042 (366) 8909
腎クリニック高野台	院長 栗山 謙	〒177-0033 東京都練馬区高野台 1丁目3番7号NFプラザII 3階 FAX 03 (5910) 3123 03 (5910) 3123	〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-8-15 FAX 03 (5372) 6151 03 (5372) 6151
練馬高野台クリニック	院長 鈴木 重伸	〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-8-15 FAX 03 (5372) 6151 03 (5372) 6151	〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 FAX 03 (5661) 3872 03 (5661) 3872
井口腎泌尿器科・内科 親水	院長 南里 正之	〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 FAX 03 (5661) 3872 03 (5661) 3872	〒192-0364 東京都八王子市南大沢2-2パオレ5F FAX 042 (677) 4477 042 (677) 4477
新線池袋クリニック	院長 石澤 健一	〒171-0021 東京都豊島区池袋 1-10-10 東武アネックスビル4階 FAX 03 (5911) 1250 03 (5911) 1260	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目9番2号久保ビル3階 FAX 03 (3376) 0191 03 (3376) 0191
望星新宿南口クリニック	院長 高橋 俊雅	〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目9番2号久保ビル3階 FAX 03 (3376) 0191 03 (3376) 0191	〒164-0012 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AMビル1階 FAX 03 (3370) 8111 03 (3370) 8129
新中野透析クリニック	理事長 津田 信次 スタッフ 一同	〒164-0012 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AMビル1階 FAX 03 (3370) 8111 03 (3370) 8129	〒192-0082 東京都八王子市東町 7-6 FAX 042 (646) 6996 042 (646) 6996
八王子東町クリニック	院長 小俣 百世	〒192-0082 東京都八王子市東町 7-6 FAX 042 (646) 6996 042 (646) 6996	〒192-0082 東京都八王子市東町 7-6 FAX 042 (646) 6996 042 (646) 6996
望星西新宿診療所	院長 中尾 俊之	〒160-0023 東京都新宿区西新宿3丁目12番12号 FAX 03 5304-5655 03 5304-5655	〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 FAX 03 (3694) 5621 03 (3694) 5621
新小岩クリニック	西尾 信一郎	〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 FAX 03 (3694) 5621 03 (3694) 5621	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-42-5 FAX 03 (6885) 3341 03 (6885) 3341
亀戸畠山クリニック	院長 畠山 卓弥	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-42-5 FAX 03 (6885) 3341 03 (6885) 3341	〒191-0043 東京都日野市平山 5-38-11 平山城址公園駅前ビル FAX 042 (599) 2311 042 (599) 2311
平山城址腎クリニック	院長 杉崎 健太郎	〒191-0043 東京都日野市平山 5-38-11 平山城址公園駅前ビル FAX 042 (599) 2311 042 (599) 2311	〒191-0043 東京都日野市平山 5-38-11 平山城址公園駅前ビル FAX 042 (599) 2311 042 (599) 2311



明けましておめでとうございいます

二〇二三年一月

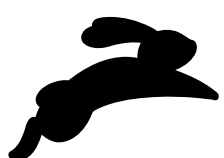
医療法人社団 菅沼会 人工透析・夜間透析・在宅透析 腎内科クリニックス世田谷 理事長・院長 菅沼 信也 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03(5969)4976 FAX03(5969)4970	医療法人社団 晴仁会 幸町腎クリニック 院長 渡辺賀寿雄 〒190-0004 東京都立川市柏町4丁目1番1号 ☎042(536)3099 FAX042(536)3269	医療法人社団 やよい会 あやせ駅前腎クリニック 院長 榎本 美穂 〒120-0005 東京都足立区綾瀬3丁目21番18号 ☎03(5697)8281 FAX03(5697)8282	医療法人社団 菅沼会 練馬桜台クリニック 理事長 永野 正史 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 ☎03(5999)0723 FAX03(5999)0823
医療法人社団 清光会 葉山湘南国際村シニアライフセンター 理事長 横山 志郎 〒240-0107 神奈川県横浜須賀野市湘南国際村1-5-3 ☎046(855)5250	医療法人社団 春口クリニック 飯田橋春口クリニック 院長 春口 洋昭 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03(5215)1515 FAX03(5215)1519	医療法人社団 やよい会 立石腎クリニック 院長 遠藤 聡 〒124-0012 東京都葛飾区立石8-1-2 賛生会ビル2階・3階 ☎03(5672)2151 FAX03(5672)2155	株式会社 教宣文化社 代表取締役 成瀬 大輔 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04(2944)4323 FAX04(2944)0118
特定医療法人 清湘会 清湘会 記念病院 〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 ☎03(3636)2301 FAX03(3636)2309	医療法人社団 やよい会 南青山内科クリニック 院長 鈴木 孝子 〒107-0062 東京都港区南青山7-8-1101 ☎・FAX03(6805)1836	医療法人社団 松岳会 東京曳舟病院 病院長 山本 保博 〒131-0032 東京都墨田区東向島2丁目27-1 ☎03(5655)1120 FAX03(5655)1121	株式会社 グリーンループ合同会社 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目12番地13号 ☎03(6277)6580 FAX03(3505)8508
医療法人社団 晴仁会 立川北口駅前クリニック 理事長 檜垣 昌夫 院長 石原 理裕 〒190-0012 東京都立川市曙町1丁目31番2号遠藤創進ビル3階 ☎042(523)2299 FAX042(523)2400	医療法人社団 やよい会 北千住東口腎クリニック 院長 大森 容子 〒120-0026 東京都足立区千住旭町9-16 ☎03(5284)5101	医療法人社団 松岳会 東武練馬クリニック 院長 目良 純一郎 〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-11-2 ☎03(5922)3530 FAX03(5399)6880	ジープラン株式会社 代表取締役 長谷川貴一 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-3-3 ☎03(3864)1233 FAX03(3864)1244



明けましておめでとうございす

二〇二三年一月

ベータ食品株式会社 〒531-0076 大阪府北区大淀中 1-16-110 高石ビル5階 ☎0800-1111-3211 FAX 0120-989-831	謹賀新年 勝和なごみ会 会長 土田 孝 会員一同	謹賀新年 新江東橋クリニック腎友会 会長 金井 信憲 副会長 井上 隆臣 会計 上松 一郎 正会員 金井 信憲 監査 隠岐 登 他会員一同 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-7-13 ☎03(5637)6920	日野腎友会 (日野・豊田・高幡・百草) 会長 板橋 俊司 副会長 春日 清 副会長 栗木美智子 (日野) 世話人 長田由紀子 (百草) 世話人 富張 理子 (高幡) 世話人 田中 克幸 (日野) 世話人 樋渡 恭子 〒191-0011 住所 日野市本町3丁目11番地1 ☎042(584)6621
扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店 執行役員支店長 松井 幸信 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03(5203)7101 FAX 03(5203)7088	医療法人社団 心施会 八王子東町クリニック桑の実会一同 JR八王子駅前通り ダビンチビル7-8F ☎042(646)6996	社会医療法人社団 健友会 中野共立病院腎友会・絆の会 〒164-0001 東京都中野区中野5丁目44番7号 ☎03(3388)3166 透析室03(3388)9107 FAX 03(3388)9108	日野市透析患者災害ネットワーク 準備会 世話人 (日野) 板橋 俊司 (平山) 岡田 和友 (豊田) 矢野 茂 (高幡) 田中 克幸 (百草) 富張 理子
あかつき印刷株式会社 代表取締役社長 大久保 豊 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25の2 APビル ☎03(3497)0531 FAX 03(3497)0043	謹賀新年 清湘会記念病院腎友会 会長 野口 忠男 他会員一同 〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 ☎03(3636)2301	医療法人社団 心施会 平山腎友会一同 京王線平山城址公園駅前 東京都日野市平山5-38-11 ☎042(599)2311	
読者の皆様 新年あけましておめでとうございす 本年もよろしく願い申しあげます 吉祥寺あさひ腎友会 会員一同 吉祥寺あさひ病院 吉祥寺クリニック内	謹賀新年 清湘会東砂病院腎友会 会長代行 野口 忠男 他会員一同 〒135-0074 東京都江東区東砂7丁目17番9号 ☎03(6666)6591	きよせ旭が丘記念病院腎友会 会長 山下 賢 副会長 宮本 弘之 監査 細田貴代美 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-26-1 ☎042(491)2121 FAX 042(491)6654	医療法人社団 心施会 府中けやき会一同 〒183-0055 東京都府中市府中町1丁目8番1号 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042(366)8909 FAX 042(334)2601

腎内科クリニック世田谷患者友の会 会長 古暮 宏 〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山4-21-14 FAX03(5969)4976	森山友の会 会長 岸里 悟 他会員一同 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西7丁目12番7号 森山脳神経センター1病院透析センター内 03(3675)1211	江戸川区腎友さつき会 会長 戸倉 振一 〒134-0085 東京都江戸川区南葛西1丁目5番1号 03(5658)0757	柳原腎クリニック 健腎会 会長 永井 昌平 〒120-0023 東京都足立区千住曙町4番16号 FAX03(3888)2707
	西クリニックひまわりの会 会員一同 〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-10 西クリニック内	高松医院 腎友会 会長 三好 かおり 〒179-0075 練馬区高松六-四-二十三 医療法人 社団蒼生会 高松医院内	謹賀新年 菊川橋クリニック腎友会 会員一同 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 03(5600)2222

30年透析会員のお名前 おめでとうございます。これからもがんばって!

会員名	導入年月日	患者会名
✳ 浅川 萬喜子	1992年1月8日	健生会ふれあい相互病院 希望会
✳ 當 喜美子	1992年1月28日	新小岩クリニック友の会 船堀
✳ 谷尾 俊二	1992年4月11日	府中けやき会
✳ 矢浪 流	1992年6月2日	菊川橋クリニック腎友会
✳ 茂木 和恵	1992年7月1日	虎の門・高津会
✳ 高山 真良	1992年11月26日	昭島腎クリニックひまわり会
✳ 長谷川 充	1992年12月12日	中野共立病院腎友会 絆の会

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F
TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556

東腎協元会長

糸賀久夫さんを偲んで



(左) 糸賀さん、(右) 篠原さん 2022.6.19 全腎協50周年式典にて

長い間お疲れ様でした

篠原 栄一
(東腎協元監査役)

糸賀さんとは、1973年私が19の頃、都立大久保病院で透析治療を受けていた時に、糸賀さんが病院にいられて以

来約50年のお付き合いでした。当時、糸賀さんに誘われて国会請願など一緒に行ったことがありました。患者会運動の草創期で活発だったことを思い出します。

あのころから糸賀さんは患者会活動に積極的に参加して透析患者のために東奔西走していました。務めていたときも仕事を退職してからもその行動力は、変わることはありませんでした

糸賀さんは社会保険事務所に勤めていらしたので、糸賀さんの独身寮に泊まりに行き、患者会のことなどいろいろ勉強させて頂きました。その後、当時の東腎協事務局長の森義昭さんに頼まれて1999～2000年、2007年～2013年まで会計監査、監事を務めました。全腎協や東腎

協に関わったのも糸賀さんの影響が大きかったと思います。

昨年6月30日、全腎協結成50周年記念式典で糸賀さんと一緒に「透析50年表彰」を受けたのが最後となりました。

最近は長期透析者が少なくなっていく中、月に一回程度でしたが電話で話をする事が楽しみでした

そして必ず最後は「俺たち生きているというより生かされている感じだよな、感謝、感謝だね」という会話で終わるのが常でした。

半世紀にわたる透析生活と全腎協、東腎協運動の中心的役割を担って来られたことに深く敬意を表します。お疲れ様でした。ゆっくりお休みください。

ご冥福を祈ります

NPO東腎協

会長 戸倉振一

糸賀久夫さんが、昨年10月

にご逝去されました。NPO法人東京腎臓病協議会(東腎協)会員を代表し心からご冥福をお祈り申しあげます。

糸賀さんは、東腎協が結成された年の1972年12月に透析を導入し、1973年より東腎協の役員として活躍されました。1986年から1996年は副会長として、1997年から2001年までは第7代会長として東腎協の活動の先頭に立ち重責を担ってきました。

2002年には狭心症で、ステントを3カ所に留置するなど、体調が不安定のため第一線からは退くことになりましたが、2002年から2010年までは相談役として、2011年から2013年は監事として、後進の指導育成に取り組んでこられ、さまざまご支援をいただきました。

また、板橋腎友さくら会や板橋難病連絡会、地域支援活

動センターの役員を務められ、地域活動についても精力的に活動を継続されました。腎臓病患者のみならず難病患者や障害者の医療や福祉の向上のため、50年という長きに渡り活動にご尽力されましたことに、心より敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

私が東腎協の役員として関わるようになったのが2001年で、糸賀さんが会長を務められた最後の年でした。

その当時は7000人以上の会員を擁しておりましたが、糸賀さんは社会保障に関する知識が豊富で、会員からも絶大な信頼を集め、腎臓病患者の「命と暮らしを守る」活動のためのリーダーシップを遺憾なく発揮されておりました。東腎協発足当初の役員も健在のなかで、大変な貴重な経験をさせていただいたと思います。

糸賀さんと共に活動され、志半ばで他界された先人の思

いも含め、糸賀さんのご遺志を引き継ぎ、患者会活動に取り組んでまいります。どうぞ、安らかに眠りください。

糸賀久夫さんを偲んで

NPO法人東腎協
相談役 金子 智

昨年10月18日、糸賀久夫さんがご逝去されました。糸賀さんは透析生活50周年を迎え、その年月を東腎協とともに歩んでこられました。心からご冥福をお祈り申しあげます。

糸賀さんは、私が患者会活動を行う中で大きく影響を受けたお一人です。初めてお会いしたのが1984年の春と記憶しています。同じ病院患者会でそこで初めてお会いしました。当時社会保険事務所に勤務され若いこともあり、土日はほとんどの時間を患者会活動に費やされていました。

糸賀さんが透析導入された時は、ちょうど透析の公費医

療費助成制度がスタートした頃でしたが人工腎臓装置はまだ不足していた時代です。私の記憶間違いでなければ、手術室に入室する時に「あなたは選ばれた人ですから頑張ってください」と言われたと伺っています。また、糸賀さんは当初「外シャント」で透析を受けていて、たくさんの手術跡の絶えない両腕を見せていただきました。

そのような黎明期を乗り越えてこられ、当時長期透析と言われた20年を越え30年、40年、50年と透析患者の先頭を走ってこられました。活動は東腎協だけにとどまらず病院患者会、地域腎友会、全腎協はもちろんのこと、難病・障害者作業所などで手腕を発揮されてこられました。

患者会活動以外にも、一度糸賀さんと一緒に海外旅行に行かせていただき、渡航先の透析施設で昼食にピザとコーラが出され、当時の日本では

出来ない体験をさせていただきました。今では、楽しい思い出になってしまいました。ただ近年は、糸賀さんも長期透析の合併症で苦勞されお会いする機会も少なくなっていきました。

東腎協が結成50周年を迎え実態調査や記念誌の発行に向け作業をしていたところで、糸賀さんに監修頂ければと思っていましたが、願いがありませんでした。本当に残念です。

「刻石流水」。
糸賀さんから教えていただいたことを忘れることなく、足元にも及びませんがこれからも患者会活動に取り組んでいきたいと思ひます。

糸賀 久夫(いとが ひさお) 2022年10月18日逝去、享年73歳、透析歴50年、1997年～2001年東腎協第7代会長、2002年～2010年同相談役、2011年～2013年同監事

事務局から

「ご寄付御礼」

扶桑薬品工業(株)東京第一支店様
ご寄付ありがとうございます。

「青い鳥ハガキご寄付御礼」

《患者会》あかまつ透析クリニック
患者会、日野クリニック腎友会
(敬称略)
ご寄付ありがとうございました。

「寄付金助成金(日本腎臓財団)」

医療法人財団誠進会飯田橋村井医
院、医療法人社団純真会、立川北
口駅前クリニック、医療法人社団
松和会大泉学園クリニック、医療
法人社団城南会西條クリニック、
医療法人社団松和会練馬高野台ク
リニック、医療法人社団晴仁会
幸町腎クリニック、南青山内科ク
リニック、柳原腎クリニック健腎
会、大久保渡辺クリニック(敬称
略)

「寄付金助成金(東腎協)」

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 賛助会員入会のお願い

1972年(昭和47年)11月19日、
東京都腎臓病協議会(現、特定非
営利活動法人東京腎臓病協議会)
を結成しました。結成から44年を
経過し、透析医療も格段に進歩し、
40年を迎えている透析患者さんも
いらっしゃいます。

その一方で社会保障制度、医療
費制度の削減が社会問題となっ
ており、莫大な費用を要する透析医
療も安心してはられない状況で
す。これからも医療機関、各企業、
患者団体と結束して活動すること
が大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る
活動に賛同いただければ是非、賛
助会員として団体の活動を支えて
いただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費：個人年額5,000円、
団体年額 10,000円／10人以上

※年1回名刺広告を機関誌「とう
じんきょう」夏号に掲載させてい
ただきます。



「結成50周年記念事業寄付金」

《患者会》新江東橋クリニック腎
友会、あかまつ透析クリニック患
者会、府中けやき会、腎内科クリ
ニック世田谷患者友の会、平山腎
友会、八王子東町クリニック桑の
実会、勝和なごみ会、優人クリニ

エルピス株式会社、ジープラン株
式会社、あかつき印刷株式会社、
株式会社東京在宅サービス、医療
法人社団豊済会、東邦大学医療セ
ンター大森病院 酒井謙先生、立
川北口駅前クリニック、医療法人
社団晴仁会幸町腎クリニック、南
青山内科クリニック、柳原腎クリ
ニック、医療法人社団菊川橋クリ
ニック、日伸駅前クリニック、戸
倉振一、酒井豊、板橋俊司(敬称
略)

東京都腎臓移植組織適合性検査費(HLA 検査費)助成事業のご案内

①対象者

都内に住所を有し、人工透析療法を受けている慢性腎不全の方で、献腎移植を希望
するため、公益社団法人日本臓器移植ネットワークへ登録する方(公益社団法人日
本臓器移植ネットワークへの登録に必要な腎臓移植組織適合性検査費が一部助成
されます)。

②助成額

腎臓移植組織適合性検査費用の一部(平成29年度については10000円とします。)

③書類提出及び問合せ先

東京都福祉保健局 保健政策部 疾病対策課 献血移植対策担当
電話 03-5320-4506 FAX 03-5388-1437

東京都と協定を締結している HLA検査センター	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	TEL03-3588-1111
	東京医科大学 八王子医療センター	TEL042-665-5611
	東京女子医科大学病院	TEL03-3353-8111
	東邦大学医療センター大森病院	TEL03-3762-4151
その他のHLA検査センター (都内及び近隣3県)	昭和大学病院	TEL03-3784-8000
	埼玉医科大学国際医療センター	TEL042-984-4111
	埼玉医科大学総合医療センター	TEL049-228-3400
	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	TEL043-261-5171
	東海大学医学部付属病院	TEL0463-93-1121
	北里大学病院	TEL042-778-8111
	公立大学法人横浜市立大学付属病院	TEL045-787-2800

編集後記

ック患者会、日野クリニック腎友会、新小岩クリニック友の会（新小岩・船堀）、松和患者会（敬称略）

《個人会員》菊地敏子、内田利男、中山信弘、伊藤勝之、福島正昭、南澤孝志、石山久美子、佐藤陽子、池田敦子、秋葉悦子、松川弘、城田紀久子、小山康子、遠藤一男、清水一義、今関慧子、桜井征夫、三沢貞重、稲生義文、加藤修一、賀集薫、阿久津秀雄、中村直子、末木秀治、高野太郎、須藤林太郎、高橋雍子、榊永照也、土屋哲夫、佐々木実樹、小松睦子、永田淑子、他匿名希望（敬称略）

たくさんのご寄付ありがとうございます。

新年早々から、全腎協関東支部

ックで長らく担当理事を務められてきた馬上和久さんの訃報に接した。昨春秋には、東腎協の元会長で透析50年の糸賀久夫さんが亡くなられた。「亡くなる最後の一分一秒まで生き抜く」人生であったと奥様は話されていた。

お二人とも透析歴や患者会活動では大先輩だが、享年73歳と私の1歳上で、同時代を生きた仲間を失った寂しさを覚えるこの頃です。

50周年記念大会は無事終了したが、記念誌「あゆみ」の発行が遅れている。私が昨年夏から頸椎、腰椎と続けて手術をして編集作業の遅延が原因だが、何とか年度内

生きる自分の命と暮らしを守るために運動を



東腎協入会パンフをリニューアルしました。新入会員拡大に活用してください

には発行の目途が立った。もう暫くお待ちください。

朗報が一つ。昨年6月以来、三好事務局次長がリモートですが理事会に参加した。少しスリムになったけど元気な声に事務局一同励まされた。

来年度は2年毎の役員改選期です。東腎協の活性化のためにも、是非とも新しい役員候補に期待します。（板橋）

《事務局雑感》

●会員皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

私事ですが大晦日から三日間で2キロほど体重が増加しました。増えるのは簡単だなと痛感しています。

「Tシャツの似合う体づくり」

を始めてから9カ月が経ち、身体に表立った変化はなくなりましたが、以前は走るとすぐに足が攣りそうになりましたが、攣りそうにならずに走れるようになりました。大きな進歩です。（笑）現在も腕立て伏せ、腹筋、背筋を毎日休まずに継続しています。今年は足腰強化が目標。体重計では実年齢よりも3歳上と表示されるので、足

腰年齢の若返りに挑戦です。

昭和記念公園の年間パスポート（4500円）を利用して、日々変化する公園の景色を楽しみながら足腰の強化ができれば良いなあ。（松山）

●「去年今年（ござことし）貫く棒の如きもの」高浜虚子

たしかに暦の上で歳は改まっても、現世では貫く棒のように移ろっていく

▼文字通りタガの外れた自公政権の暴走の一年で新しい年を迎えた▼この政権の手口はもはやカルトそのもの。旧統一協会いわく「献金しなさい。さもないと不幸になります」。自公政権いわく「日本の空にミサイルが飛んでくる。だから大軍拡・大増税が必要」。こんなカルトに塗れた政権はもう御免▼国の防衛という一国の大方針を国会にも諮らず「閣議決定」で決めてしまふ怪しさ。口では「専守防衛を堅持する」と言っておきながら「攻められる前に敵基地を叩く」という危うさ▼叩いたら必ず叩かれるのが戦争なのだ、ということを想像することができない人たちに政治を委ねることはできない。（白坂）

第
34
回

腎臓病を 考える 都民の集い

慢性腎臓病患者は全国で1,300万人とも言われ、新たな国民病として正しい知識と治療法の理解が求められています。肥満やメタボリックシンドロームなどの生活習慣病罹患患者にはCKD(慢性腎臓病)が多く、あるいはCKDになりやすいと考えられています。都民の皆さまにも「慢性腎臓病(CKD)をよく知ろう～腎臓を守るために～」 「今日から実践! 腎臓を守る食事療法のコツ」などについて理解していただけるよう開催いたします。

講演
I

慢性腎臓病 (CKD) をよく知ろう 腎臓を守るために

60分

さかい けん
講師 酒井 謙 先生
東邦大学医学部腎臓学講座 主任教授
東邦大学医療センター大森病院 副院長



講演
II

今日から実践! 腎臓を守る食事療法のコツ

60分

おざわ たかし
講師 小澤 尚 先生
小平北口クリニック院長
「腎臓病食品交換表」監修医師



事前に質問用紙に質問事項を書いて頂き、先生方に回答していただきます。

日時

令和5年

2023年3月12日(日)
13:00~16:00 (開場12:30)

場所

都議会議事堂
1階 都民ホール

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1

入場無料

先着120名様
事前申込み不要

※ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、上記講演を録画しYouTube等での配信のみに変更する可能性があります。



交通
JR新宿駅西口 徒歩10分
都営地下鉄大江戸線都庁前 徒歩5分
JR新宿駅西口巡回バスあり都議会議事堂(又は都庁第一本庁舎)下車

お問合せ NPO法人東京腎臓病協議会

☎:03-3944-4048 Fax:03-5940-9556 E-mail:info@toujin.jp

主催 NPO法人東京腎臓病協議会

共催 東京都

協賛 特定非営利活動法人 腎臓病早期発見推進機構 / 公益社団法人 日本透析協会 / 特定非営利活動法人 日本腎臓病協会 / 一般社団法人 日本腎臓学会 / 一般社団法人 日本透析医学会 / 一般社団法人 全国腎臓病協議会 / 特定非営利活動法人 腎臓サポート協会 / 公益財団法人 日本腎臓財団 (順不同)

透析と介護 ふたつの安心

介護施設への
入所が困難だった
透析患者の方に
グッド・ニュース

画期的な試みとして注目される介護施設内での人工透析

社会福祉法人むつみ会春陽苑は、介護老人福祉施設に医療施設「にこにこクリニック」を開設しており、介護と医療の両方から高齢者の方に安心をご提供しています。
特に介護が必要な高齢の透析患者の方に、入所して介護を受けながら、人工透析室で、透析を受け生涯を過ごしていただくという画期的な取り組みは、全国でも例を見ないもので、現在注目を集めています。

また、24時間スタッフによる医療・介護の管理の下透析を行った結果、通常の透析患者に比べて状態がとても良好で、特養での管理の下で行う透析の効果があることもわかってきました。
春陽苑は、介護が必要な透析患者の方にも、出来る限り透析を継続していただき、生きる喜びと輝きを持ち続けていただくことを願っています。

人工透析機を
常設！



▶透析室



▶個室

▶春陽苑全景



▶診察室

施設概要

●介護老人福祉施設

入所定員：124床（ショートステイ含む）
事業内容：【入所事業】介護老人福祉施設
短期入所生活介護

【在宅事業】通所介護・在宅介護支援
センター・居宅介護支援事業

●桜木支所

事業内容：居宅介護支援事業・地域包括支援センター
訪問介護

●介護老人保健施設 Lilyナースィングルーム

入所定員：100床（ショートステイ含む）
事業内容：【入所事業】介護老人保健施設
短期入所療養介護

【在宅事業】通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション

【障害福祉サービス事業】短期入所



春陽苑にこにこクリニック

診療科目：内科・脳神経外科・腎臓内科・人工透析内科・皮膚科・精神科

入所料金

入所される方の生活状況により利用料が異なります。

参考事例：介護老人福祉施設春陽苑へ入所 要介護3（1割負担）の場合

（単位：円）

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
多床室	45,630	59,430	67,230	104,580

※保険単位数を基に少数を含む計算を行う為、実際の金額と誤差が生じる場合があります。
※上記の金額には、食費、日用品費、居住費、及び、体制加算等が含まれています。
※その他に電化製品を利用される方は1点につき、電気代が1日50円（30日で1,500円）がかかります。
※医療費は別にがかかります。

アクセス



●JR大宮駅西口から西武バス「ららぽーと富士見行」または「所沢駅東口行」で「治水橋堤防」下車、徒歩3分
●JR埼京線指扇駅よりタクシーにて10分
●東武東上線三ツ木駅よりタクシーにて13分
●お車の場合
新大宮バイパス→三ツ木(3)の交差点を左折→県道56号線に入る→治水橋を越え一ツ目の信号を左折し荒川沿いの建物

【見学随時募集中】

相談
ダイヤル

TEL:048-625-0707

〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 FAX:048-625-0755

ホームページのお問い合わせフォームもご利用ください。

<http://www.mutsumikai.net>

透析 春陽苑

で 検索！